

さみどり

二宮町立一色小学校 学校だより

令和3年度 第3号 (9/13)



行責任者: 校長 古正栄司

一色小学校: 0463-71-1543

9月に入ってからずっと涼しい日が続いています。マスクを着けて生活する身にとっては、大変助かります。2学期が始まるにあたり、学校で新型コロナウイルス対策と熱中症対策を同時並行で進めていくことにとても苦慮していましたが、乗り越し苦労に終わることを願っています。教師が状況に応じて最適な指示できるよう検討してきました。何しろ、低学年と高学年では運動量も判断力も変わってきますし、子どもたち一人ひとりには個人差もあります。文部科学省や厚生労働省などからの通知も読み直し、より安心安全なマスク着脱の指示などができるよう、準備していましたが、今はただもう、このまま涼しい日が続いてくれればと願うばかりです。

始業式 9/1(水)

コロナ第5波真っ只中でしたので、私は校長室から、子どもたちと先生たちは各教室で大型液晶テレビ画面を見て、オンライン始業式を行いました。「これまでとは比べものにならないほどコロナ感染が拡大しているので、気持ちが少し緩んでいた人は気持ちを引き締め直して、自分や家族、大切な人の命を守るために、人からうつらない・人にうつさないという強い気持ちを持ってほしいと話しました。もう一つ、南棟・北棟の昇降口の間にペンキで線が引かれているので、線の色を気にして歩いてほしいという話をしました。

続けて、保健室の岩織先生から、感染症予防について具体的にわかりやすく話をしました。併せて、2学期の生活の仕方など、話をしました。この日の様子は学校ホームページにも載せてあります。

1・2年生は入学以来校歌を歌ったり聞いたりする機会が少ないので、始業式の次第に入れようか悩みましたが、時間短縮を優先し、今回も校歌を歌わせることも聞かせることもできませんでした。

防災学習 9/9(木)朝

気象庁防災啓発ビデオ「急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！」

「金属製品を身に付けていると、雷が落ちやすい」とか「稲光が光ってから雷鳴が聞こえるまで6秒あったから、まだ大丈夫。そんなに近くない。」など、迷信が今でも信じられているようです。正しい知識と、なぜそうするのかという理由をしっかりと学び、自分から命を守る行動をとることのできる子どもになってほしいと思います。

学校で見た映像をご家庭でも見ていただけるよう、サイトのQRコードを右上に載せましたので、お時間がありましたらご覧ください。



『緊急時のために「雷しゃがみ」を覚えておきましょう!』

■雷しゃがみの姿勢

- ①頭を下にかがめる（できるだけ姿勢を低くする）
- ②両手で耳をふさぐ
- ③足の両かかと同士を合わせる
- ④つま先で立つ

③&④が重要なポイント

両足のかかとを合わせる（付ける）理由は、万が一、雷の電気が足から進入しても上半身まで流れないように、片足から反対側の片足へ、Uターンさせて流し返すためです。

また、つま先で立つ理由は、地面との接点を可能な限り小さくして、電気の侵入を最小にするためです。リュックサックなどの荷物は、地面に下ろします。できるだけ姿勢を低くすることが大切ですが、腹ばいになるのは地面との接地面積が大きくなるのでNGです。また、数人でいる場合は、お互いが30mは離れた方がよいとされています。



コロナでみんなヘトヘト…でも、頑張っ乗り越えましょう!

緊急事態宣言が9月末まで延長されたことを受け、県内の多くの自治体が午前授業の延長を記者発表しました。政令市川崎は、市立小中学校の午後の授業を13日(月)から再開し、通常授業とするそうです。2学期が始まってから間もなく2週間になります。学校における感染の不安を抱えている家庭もあると思いますが、学校では感染対策をかなりしっかり行っています。私は登校時と下校時にできるだけ外へ出かけて、「会話を控えましょうね!」「お互いの距離をとりましょうね!」と声掛けするようにしています。学校内での感染や感染拡大等無いよう、これからも気を抜かずに対策をしっかり行い、一日も早く学校に日常が戻ることを願っています。